

余川橋～高田橋

神通川支流の井田川で中流の特徴を観察できるのは、旧八尾町の市街地から落合橋にかけての川筋ですが、容易に河床へ降りられる場所が意外に少ない難点があります。川そのものは、河川改修で流路ががっちりと固定されていますが、堤防間で蛇行するだけの幅は何とかあり、川による浸食や堆積は一応観察できます。井田川中流域の特徴を観察しやすい場所をあげると、この余川橋～高田橋間の左岸側が一つの候補地になるでしょう。川原へ降りやすい場所は左岸側に3箇所ありますが、その中では一番余川橋に近い入口から降りた川原が最も観察しやすいようです。

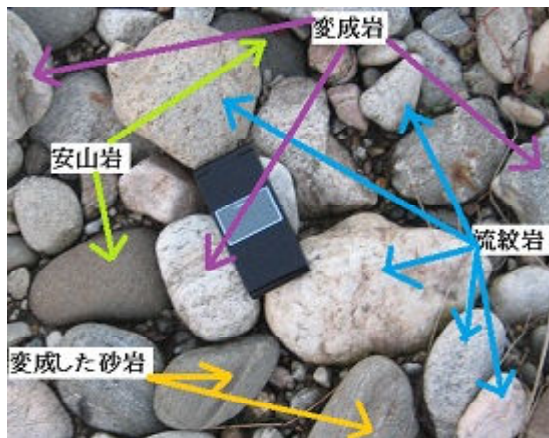
観察対象	河川中流部
観察できる人数制限	1クラス～2クラスがよい
流速の実験の安全性	つりざおを使用すると比較的安全にできる。
バス駐車スペース	あり
トイレ	近くにない。



余川橋下流



岩石の様子



川原の様子



左岸から上流側のながめ

